

埼玉県深谷市

〒366-0823

深谷市本住町17-1

☎048-575-1101

FAX048-574-6668

Eメール

hoken@city.fukaya.saitama.jp

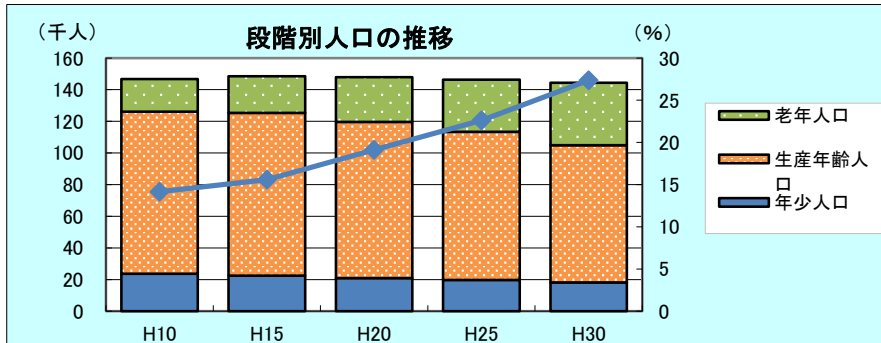
市ホームページ

http://www.city.fukaya.saitama.jp

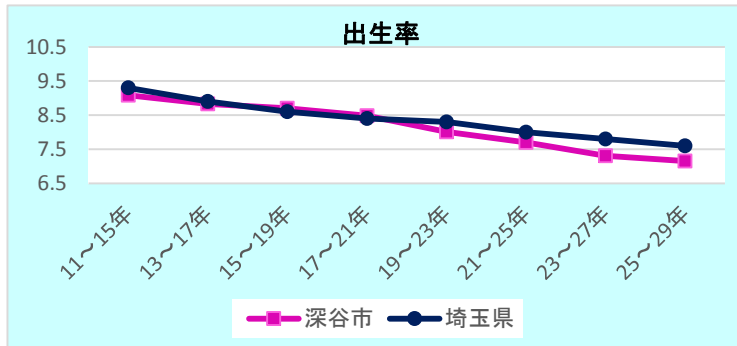
本市のデータ

●平成18年1月1日 1市3町で合併。

●総人口143,512人 世帯数59,633(平成31年4月1日現在)市民課データ



(出典: 埼玉県健康指標総合ソフト平成30年度版)



(出典: 埼玉県健康指標総合ソフト平成30年度版)

●産業分類別就業者割合

第1次産業 7.7%

第2次産業 28.9%

第3次産業 57.8%

分類不能 5.6%

(出典: 平成27年国勢調査)

本市の概要

深谷市は、埼玉県北西部に位置し、東京都心から70キロメートル圏内にあります。

北部は利根川水系の低地で、南部は秩父山地から流れた荒川が扇状台地を形成する平坦な地形となっております。2つの河川は肥沃な大地の形成に寄与しており、それらがもたらす農作物として、深谷ねぎやブロッコリー、トウモロコシは全国に知られるブランドになっています。また、ユリやチューリップなどの花き栽培や深谷牛などの農畜産物の生産も盛んです。さらに、煮ぼうとうや漬物、日本酒、深谷瓦など長い歴史とともに培われてきた伝統の味と技が受け継がれています。

交通の面では、関越自動車道、国道17号・140号・254号などの主要道路が通っており、地域の玄関口として関越自動車道花園ICが設置されています。

また、鉄道はJR高崎線、秩父鉄道の駅を有し、東京都心方面、秩父方面への交通の要衝となっており、電車を降りると赤レンガ調の深谷駅や渋沢栄一からくり時計が出迎えてくれます。

「近代経済の父」と呼ばれ、新一万円札の肖像に決まった渋沢栄一は、深谷市で生まれ育ちました。市内には、渋沢栄一記念館をはじめ関連施設が数多く存在し、渋沢栄一の足跡をたどることができます。また、古代郡役所跡の幡羅遺跡や中宿遺跡などの歴史的な遺産が数多く残されています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

平成31年3月「深谷市自殺対策計画」策定。

「ともにつくる いのちを大切にすまち ふかや」を基本理念とし、自殺対策を「生きることの包括的支援」と捉え、市民と行政、関係機関との連携、協働により自殺対策に取り組んでいく。

<具体的な取り組み>

平成23年度

- ・「自殺予防対策関係課長会議」の開催。
- ・庁内で連携を図りながら、研修会・相談支援等を実施。
- ・相談窓口一覧チラシの作成・配布の開始。

平成24年度

- ・「深谷市健康づくり計画」策定：休養・こころの健康を施策に掲げる。
- ・ゲートキーパー養成講座：関係課長を対象に実施。
- ・メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」導入。
- ・埼玉県共催で「第1回こころの健康フェスティバル：講演会」を実施。

平成25年度

- ・ゲートキーパー養成講座：関係各課の職員を対象に実施。
- ・埼玉県共催で「第2回こころの健康フェスティバル：講演会」を実施。
- ・自殺予防パネル展の開始。（市内公共施設）

平成26年度

- ・トワイライトセミナー開催。「自殺をほのめかす人への対応」：関係各課の職員を対象。
- ・埼玉県共催で「第3回こころの健康フェスティバル：講演会」を実施。

平成27年度

- ・ゲートキーパー養成講座：民生委員対象に実施。

平成28年度

- ・こころの健康講演会（市単独）の開催。

平成29年度

- ・「第2次深谷市健康づくり計画」策定にあたり、第1次計画の評価、見直しを行い、引き続き、休養・こころの健康を施策に掲げる。
- ・ゲートキーパー養成講座：民生委員対象に実施。
- ・こころの健康講演会（市単独）の開催。

平成30年度

- ・深谷市自殺対策計画策定
- ・「深谷市市内自殺対策推進本部」及び「深谷市自殺対策実務者ネットワーク会議」を新たに設置。
- ・ゲートキーパー養成講座：介護支援専門員対象に実施。